# 電気の異常の多くは、壊れる前にサインを出しています

2026年10月号 ／ 汎用版

ご担当

**担当の電気管理技術者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿**

この資料をお配りした電気管理技術者のお名前（ご記入いただくか、ゴム印をお押しください）

## 本号の掲載内容


1　注意喚起　**電気の異常に気づく、4つのサイン**
においが出る。ほこりがたまる。音が鳴る。ブレーカーが落ちる。毎日そこにいる方だからこそ、先に気づけます。

2　リコール情報　**リコールは、型番で確かめる**
経済産業省のリコール情報のページで、いつでも最新の一覧が見られます。QRコードから開けます。

3　確認　**職場でできる、電気のチェックシート**
朝礼や安全会議で、そのままお使いいただけます。


1 ／ 注意喚起

## 電気の異常に気づく、4つのサイン

電気の事故は、ある日とつぜん起きるように見えます。ただ、**その前に何かが変わっていることのほうが多いです。**

落雷や小動物の侵入のように、**前ぶれなく起きる事故もあります。**それでも、気づけるものは確かにあります。においが出る。ほこりがたまる。音が鳴る。ブレーカーが落ちる。**気づけるのは、毎日そこにいる皆さまです。**点検でしか伺わない電気管理技術者より、ずっと早く気づけます。

## 01 におい・熱



**焦げくさい、ビニールが溶けたようなにおい。プラグやコードが、さわって熱い。**どちらもコンセントまわりから出ることが多いサインです。どこからか分からなくても、知らせてください。

電気が通るところが熱を持つと、まわりの樹脂やほこりが先に焦げます。**においは、煙より早く出ます。**

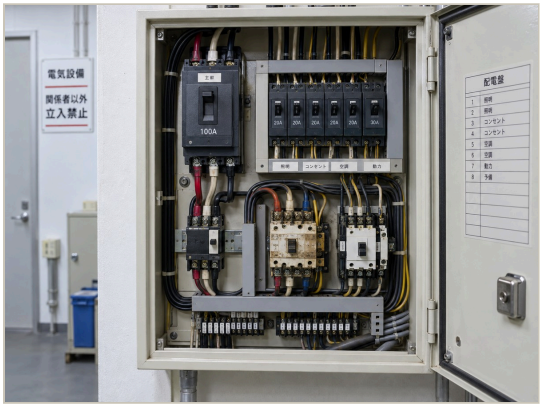
## 02 ほこり



**挿しっぱなしのプラグの根元に、ほこりがたまっていませんか。**冷蔵庫、コピー機、給湯器の裏――**動かさない場所ほどたまります。**

ほこりが湿気を吸うと、そこに電気が流れて発熱します（トラッキング現象）。**抜いていなくても燃えます。掃除で防げます。**

## 03 音




※ **分電盤を開けるときは、担当の電気管理技術者へお声がけください。**

**ジー、ブーン、チリチリ。**いつもと違う音、いつもより大きい音。「前からこんな音だった気がする」でも構いません。

ゆるみや部品の劣化は、音になって出ます。**毎日聞いている人にしか分かりません。**

## 04 動き




**ブレーカーが落ちる。照明がちらつく。機械の動きがおかしい。**一度で収まっても、**落ちたこと自体を知らせてください。**

ブレーカーは壊れて落ちるのではなく、**危ないから落ちています。原因が分からないまま、何度も入れ直さないでください。**繰り返すなら、原因があります。

※ 掲載の画像は、説明のために作成したイメージです。

## 気づいたら、この順で

1. **さわらない。**熱いもの、焦げているもの、濡れているものには手を出さないでください。

2. **使うのをやめる。**その機器のスイッチを切る。プラグが熱くなければ抜いていただいて構いません。

3. **人に伝える。**社内の電気ご担当者へ。「いつ・どこで・どんな様子か」だけで十分です。

4. **担当の電気管理技術者へご連絡ください。**夜間・休日の連絡先も、ふだんから確かめておいてください。**迷ったら連絡してください。**空振りでも構いません。

> **「大したことないかも」で止めないでください。**空振りの連絡で失うものはありません。**連絡しなかったことで失うもののほうが、ずっと大きいです。**

## ふだんから、できること

> **キュービクル（高圧受電設備）や低圧分電盤のまわりに、物を置かないでください。**扉が開けられないと点検ができません。荷物、パレット、脚立、植木――**気がつくと置かれています。**
>
> **キュービクル（高圧受電設備）の中は、感電などのおそれがあり危険です。開けないでください。**扉を開けるのは、担当の電気管理技術者の役目です。鍵の管理もお願いします。
>
> **低圧の分電盤は、キュービクルとは扱いが違います。**漏電遮断器が落ちたときの調べ方は、担当の電気管理技術者の案内に従ってください。**分からなくなったら、そこで止めてご連絡ください。**

そのほか、**ほこりの掃除**がいちばん効きます。コンセントの裏、機器の裏、分電盤のまわり。年に一度でも違います。

**延長コードを束ねたまま使わない。踏まれる場所に這わせない。**このあたりは、掃除のついでに直せます。

## 電気管理技術者は、どう見ているか

電気管理技術者は、定期点検でお伺いしたときに電気設備を見ています。見るところは、ご契約の内容によって違います。**遠隔監視装置で停電や漏電などを見ている設備もあります**（付いているかどうかは、担当の電気管理技術者に確かめてください）。

ただ、**遠隔監視装置が付いていても、コンセントの焦げやコードの熱までは分かりません。そこは、皆さまの目と鼻と手と耳が頼りです。**

2 ／ リコール情報

## リコールは、型番で確かめる

職場で使っている機械や家電が、リコール（回収・無償修理など）の対象になっていることがあります。**見た目やメーカー名だけでは、対象かどうか判断できません。**製品の型番や製造番号を、メーカーの対象一覧と照らし合わせてください。**使っていない保管品**も確かめましょう。

| リコール情報の調べ方 | 2026年9月29日確認 |
|---|---|
| **経済産業省「リコール情報」（製品安全ガイド）**<br><br>https://www.meti.go.jp/product safety/recall/index.html | |
| QRコード | 読み取ると、経済産業省のリコール情報のページが開きます。 |
| 見られること | 新しく公表されたリコールが、**日付の新しい順**に並んでいます。製品の種類ごとの一覧もあります。<br>**赤い字の製品は、重大製品事故がきっかけのリコール**です。<br>対応が変わった件（使用中止への変更など）は、最初の公表日の位置に「対策内容更新」と書き足されます。お手元の製品は、製品の種類ごとの一覧でも確かめてください。 |
| 気をつけること | このページに載るのは、主に**家庭などで使う製品（消費生活用製品）**です。業務用として売られた機械は載っていないことがあるので、メーカーや設置した業者に確かめてください。<br>**最新の対応は、メーカーの案内**で確かめてください。 |

**型番は、見える所のラベルで控えておきましょう。**分からないときは、購入した店や設置した業者に聞いてください。

3 ／ 確認

## 職場でできる、電気のチェックシート

朝礼や安全会議で、そのままお使いください。**「いいえ」が付いたところが、直せるところです。**

| | |
|---|---|
| コンセントやプラグの根元に、**ほこり**がたまっていない | □はい □いいえ |
| プラグやコードが**熱くなっている**ものはない | □はい □いいえ |
| コンセントやプラグに**焦げ跡・変色・ひび**がない | □はい □いいえ |
| 延長コードを**束ねたまま**使っていない | □はい □いいえ |
| コードが**踏まれる場所・家具の下**を通っていない | □はい □いいえ |
| **たこ足配線**になっているところがない | □はい □いいえ |
| キュービクルや分電盤のまわりに**物を置いていない** | □はい □いいえ |
| 分電盤の扉が**閉まっている。**鍵の場所が分かる | □はい □いいえ |
| ブレーカーが落ちたとき、**誰に知らせるか**決まっている | □はい □いいえ |
| 夜間・休日の**緊急連絡先**が分かるところに貼ってある | □はい □いいえ |

**「いいえ」が1つでもあれば、それが今月の課題です。**全部を一度に直す必要はありません。**ほこりの掃除ひとつでも、事故はひとつ減ります。**

SOURCE ／ 出典

**リコール情報の調べ方(2)**:経済産業省「製品安全ガイド／リコール情報」
https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/index.html(2026年9月29日に確認)
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

**トラッキング現象、コンセントまわりの注意(1)**: 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)による製品事故の注意喚起を参考にしています。

本資料は、上記の公表資料をもとに、**事業場でお使いいただくために北村電気管理事務所が編集・執筆したもの**です。原文の転載ではありません。**掲載の画像は実際の現場写真ではなく、説明のために作成したイメージです。**

**この版は「汎用版」です。**電気管理技術者の皆さまが、ご自身のお客さまの保安教育にお使いいただけるよう、北村電気管理事務所だけに当てはまる書き方を「担当の電気管理技術者」に直してあります。
**使っていただいてよいこと**:印刷してお配りする／このPDFをメールなどでお渡しする／表紙の欄に担当の方のお名前を書く・ゴム印を押す。北村電気管理事務所へのご連絡や費用は要りません。
**お断りすること**:文章・図・写真を書き換えたり、一部を抜き出したりして配ること／ご自身のホームページなどにこのPDFを置くこと(ご紹介は、北村電気管理事務所のホームページの記事へのリンクでお願いします)。
内容やお手元の設備についてのご相談は、担当の電気管理技術者へお願いします。制作者(北村電気管理事務所)では、個別のご相談はお受けしていません。